

## 3月定例会開催される

3月定例会が2月25日から3月21日まで開催され、慎重審議の結果、原案の通り可決されました。主な内容は次の通りです。

### 赤城公民館建設工事請負契約を締結

赤城公民館の建設工事（建築主体工事）は、条件付き一般競争入札により、6社が入札に参加しましたが、開札の結果、予定価格を超過したため、落札者がありませんでした。このため、規定により随意契約を行った結果、南澤建設株式会社に決定しました。契約金額は、4億740万円です。工期は、平成25年12月13日を予定しています。

工事内容は、鉄骨造り2階建て、敷地面積は7405.58㎡、延べ面積は1817.64㎡、建築面積は1229.40㎡です。主要な諸室は、玄関ホール、事務室、図書室、視聴覚室、ホール、男女トイレ、多目的トイレ、学習室、調理室、創作室、和室です。

### スカイテルメ渋川の指定管理を パブリッシュ出版の子会社に指定

スカイテルメ渋川は、パブリッシュ出版株式会社（指定管理（期間は平成28年3月31日まで）していましたが、会社分割に伴い、100%子会社であるテルメリゾート株式会社）に指定管理を行わせるものです。（期間は本社と同様）指定管理期間中の会社分割による子会社化は、全国でも初めてであり、今後の運営に心配な部分があることから、委員会では否決されましたが、今後、テルメリゾートになっても、現指定管理者の運営方針を引き継ぐとともに、同様の業務体制のもとで指定管理業務が行われ、同水準の指定管理業務が確保できると認められること。指定管理を認めない場合のリスクや負債の処理などの対応も本社が責任を持つことが確認されたことから、本会議では可決されました。



渋川市議会議員  
しのだ 徳寿

〔後援会事務所〕  
大同特殊鋼（株）渋川工場労働組合内  
TEL 0279-23-5198  
FAX 0279-24-3820  
ホームページ  
<http://geo.t-shinochan55.com/>  
篠田徳寿でも検索できます。

### 市長及び副市長の期末手当を減額

厳しい財政状況下において、市長及び副市長の期末手当を昨年に引き続き減額するものです。市長においては50%、副市長においては30%の減額となります。

### 渋川市看護師修学資金貸与条例を制定

急速な高齢化の進行や医療に対する市民ニーズの多様化などに伴い、地域医療の人材確保が重要な課題となっています。看護師確保対策の一環として、看護師修学資金貸与制度を創設するものです。県内の看護師養成施設の学生が対象で、修学資金の額は、月額1万8000円とし、無利息です。将来、市内の医療機関等に一定期間（貸与を受けた期間）以上就業した場合に返済を免除することができます。平成25年度の予算額は、432万円で20人が対象となります。

### 補正予算関係

#### 元氣臨時交付金で事業を前倒し

国は緊急経済対策として、地域の元氣臨時交付金を予算補正しました。本市の交付額は約19億円程度ではないかとの説明がされています。対象事業は公共事業であり、本市では、事業の前倒しとして3月補正で28億2220万円を予算化しました。内訳は、一般会計の12事業で25億1910万円、下水道事業で2億5500万円、農業集落排水事業で4810万円です。主な事業は、道路橋梁の維持管理事業、伊香保温泉再生事業、小中学校耐震補強事業などです。渋川総合病院負担金は8000万円の補正です。急激な公共事業の増加による将来負担や反動、維持管理などの財源確保について、一般質問で指摘しました。



渋川北小学校中校舎耐震改修



渋川中学校南校舎耐震改修



伊香保駅所整備



南部学校給食調理場新築

平成25年度予算関係

一般会計当初予算は3333億3700万円

予算編成方針では、「限られた予算を最大限に活かすため、コスト意識を持って、創意工夫を旨とし、国や県などの動向を踏まえて、関係する部局が議論を十分に行い、一層効果的な施策となるよう最大限努めること」としています。予算編成にあたっては、昨年同様、一般会計に一般財源枠配分方式を導入して、予算枠内での所屬長の事業選択の裁量権を拡大し、創意工夫のある予算要求を旨として進めてきたと説明がされました。

予算編成の質疑では、観光ネットワークの創出について最大の広告はお客様であり、また来たいと思えるような「おもてなし」が大切である。そのための仕掛け作りについての対応を質疑しました。また、市民と行政の協働によるまちづくりの推進では、行政から積極的に市民との協働による提案をすべきではないかと指摘しました。

- ・一般会計予算…3333億3700万円(前年度比1・2%、金額で3億9900万減少)ただし、3月に前倒しの補正予算を加えると358億5610万円(6・3%増)
- ・各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計の総額は、603億3505万円(0・6%の減少ですが、前倒しの補正予算を加えると631億5725万円(4%増)
- ・一般会計の主な歳入

- ・市 税…103億8497万円(構成比31・2%)
- ・地方交付税…83億円(構成比24・9%)
- ・国庫支出金…31億5337万円(構成比9・4%)
- ・県支出金…21億4251万円(構成比6・4%)
- ・市 債…35億2760万円(構成比10・6%)
- ・一般会計の主な歳出
- ・総務費…47億9153万円(構成比14・4%)
- ・民生費…105億3701万円(構成比31・6%)
- ・土木費…32億8572万円(構成比9・9%)
- ・教育費…41億1388万円(構成比12・3%)
- ・公債費…33億6408万円(構成比10・1%)
- ・その他の構成比(労働費0・1%、農林水産業費4・7%、商工費3%、消防費4・3%)

主な事業

- ・本会議動画配信事業…259万円(6月配信予定)
- ・地域振興基金…5億520万円
- ・スポーツ振興構想推進事業…269万円
- ・乗合バス運行費補助事業…1億6754万円
- ・子ども医療費助成…2億8500万円(中学卒業までの自己負担分を現物支給、市負担分1億4250万円)
- ・生活扶助費給付事業…8億5987万円(390世帯)
- ・民間保育所運営事業…10億5416万円(9園)
- ・資源ごみ回収事業…3635万円
- ・渋川地区医師会…446万円(看護専門学校補助金)
- ・プレミアム付商品券発行事業…1000万円
- ・観光宣伝事業…286万円(トラックにラッピング)
- ・スカイランドパークナイトイベント事業…30万円

- ・借上賃貸住宅事業…3603万円
- ・花で包む未来の渋川推進事業…1168万円
- ・伊香保温泉再生事業…2億8488万円
- ・高渋バイパス関連市道整備事業…1381万円
- ・防災行政無線デジタル化事業…2億3284万円
- ・通学バス運行事業…8149万円(17路線)
- ・北橋運動場整備事業…1億7478万円

議員全員協議会報告

水道料金の統一に向けたスケジュール(案)について

現行の料金体系は、平成23年度から渋川地区、伊香保地区の料金が統一され、子持地区・北橋地区では、合併前からの料金体系が引き継がれた3系統となっています。また、簡易水道事業では、小野上地区・赤城地区の料金が統一された料金体系となっています。

平成25年度の財政見通しでは、累積欠損金については、平成25年度途中で解消される見込みであり、留保資金残額についても、4億1784万4000円の増加が見込まれています。

水道事業は、「一市町村一水道」及び「同一事業同一料金」が原則であり、水道料金の統一に向けた考え方として、調整を図りたいとの(案)が示されました。

水道料金統一までのスケジュール(案)

事業名	20m3 当たり	H23 4月	H24 9月	H25	H26 8月	H27	H28	H29 8月	
水道事業	2650円 (北橋)	現行料金	料金改定期間5カ年		水道事業料金統一	市域全域水道事業統合	市域全域料金統一 (2250円)	累積欠損金の解消	
	2540円 (子持)		-15.1% (調整) (-400円)						
	2250円 (渋川・伊香保)		-11.4% (調整) (-290円)	*1事業1料金体系 2250円					
簡易水道事業	1650円 (小野上・赤城)				1950円 (小野上・赤城)			18.2% (調整) (+300円)	+300円 15.4% (調整) 2250円